

(3) 骨材

新潟県

記事提供：(一社)新潟県砂利碎石協会

新潟県における令和4年度7月～9月期の骨材需給は、地域によってばらつきがみられ、一部地域で生産増の動きがあったものの、全体的には低調に推移し、県計では、出荷量で6%減、生産量で1%減となった。

地区別に前年度同期比を見ると、上越地区では、出荷量は13%減、生産量で16%減、中越地区は、出荷量、生産量ともに1%増、下越地区は、出荷量で6%減、生産量で10%増、佐渡地区は、出荷量で16%減、生産量で10%減となった。

富山県

記事提供：富山県土石業協同組合連合会

富山県における令和4年7月～9月期の骨材の需給は、前年同期に比べて、県全体では出荷量は10%減、生産量は9%減と、出荷量、生産量とも前年度を下まわった。また、前期(令和4年度4月～6月期)比では、出荷量は微増、生産量は2%減となった。

地区別の前年同期比では、東部地区は出荷量が9%減、生産量が7%減、西部地区においては出荷量が11%減、生産量が10%減となった。

9月末在庫量は、前期末(令和4年6月末)より、東部地区では5ポイント増に、西部地区では11ポイント減に、県全体では1ポイント増となった。

石川県

記事提供：石川県骨材協同組合連合会

石川県における令和4年度7～9月期の骨材(県内産)の需給状況は、依然として新型コロナウイルスの影響による需要不振が続いており、県計全体の出荷量は前年同期と比べて3%の減少となった。

7～9月期の地区別の出荷量の比較では、加賀地区は陸砂利・川砂利が低調な状態が続いていることが影響して前年同期比で4%の減少となった。一方、能登地区は前期からの回復傾向を維持し前年同期の約2倍の出荷量となった。

その今期の出荷量の内訳を見ると、加賀地区については、主要生産地である手取川扇状地産の陸砂利と川砂利は、その主要な需要先である生コン業者向けの出荷において、大口需要の金沢地区が依然として不振から抜け出せず12%の減少となった。一方、南加賀地区は復調傾向にあるものの、今期は前年同期とほぼ同量の横ばいとなった。また、前期は減少に転じたアスファルト合材業者向けの今期の出荷は、再び復調基調となり前年同期比で35%の増加となった。以上を総じて、今期の加賀地区における手取産陸砂利と川砂利の全体の出荷は、前年同期比で8%の減少となった。

また路盤材を主体とする加賀地区の山砕石は、大型物件のない中、今期は堅調に推移し前年同期比で6%の増加となった。

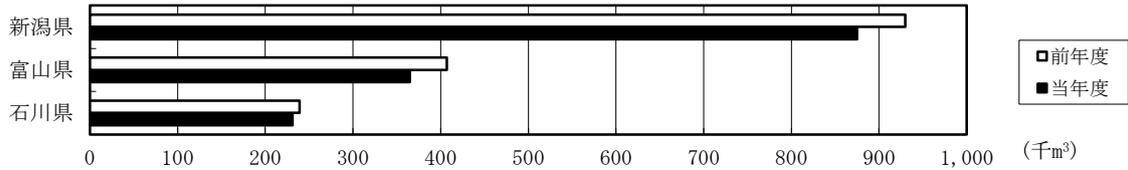
一方、能登地区(山砕石)については、今期は前年同期比で100%の増加となった。しかしこの地区は県外からの流入材に押されて量的に少ない上に、コロナ禍による需要の縮小化が状況を更に深刻化しており、依然としてこの地区の地場産業者の経営環境は、極めて厳しい状況にある。

生産量については、加賀・能登地区共に概ね出荷量に合わせた生産体制をとっているが、今期は加賀地区の陸砂利・川砂利がやや過剰気味となり、県計では前年同期比で2%の増産となった。

在庫量は、加賀地区の陸砂利・川砂利において需要不振による積み上がりが生じたことから、県計全体の前年同期比では5%の増量となった。

上半期(R4.4～9月)の累計では、出荷量は県計で前年度上半期と比べて5%の減少となったが、生産量はほぼ同量となった。また在庫量は5%の増量となった。

骨材出荷量の推移（7月～9月期）



(単位：千m³、%)

県	地区	区分	令和3年度 年計	令和4年度				累計
				4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
新潟県	上越	出荷量	▲5 771	▲20 170	▲13 213			▲16 383
		生産量	▲4 780	▲23 190	▲16 212			▲19 402
		在庫量	7 131	▲5 151	▲9 150			▲54 150
	中越	出荷量	0 966	▲3 226	1 304			▲1 530
		生産量	1 961	4 262	1 311			3 573
		在庫量	▲2 300	4 336	4 343			▲48 343
	下越	出荷量	2 1,240	1 298	▲6 322			▲2 620
		生産量	▲1 1,184	6 312	10 341			8 653
		在庫量	▲7 709	▲5 723	1 742			▲50 742
	佐渡	出荷量	22 178	0 34	▲16 36			▲9 70
		生産量	24 177	▲3 36	▲10 37			▲6 73
		在庫量	▲6 300	▲5 35	0 36			▲51 36
	県計	出荷量	0 3,155	▲6 728	▲6 875			▲6 1,603
		生産量	0 3,102	▲4 800	▲1 901			▲2 1,701
		在庫量	▲4 1,173	▲3 1,245	1 1,271			▲50 1,271
富山県	東部	出荷量	2 665	4 154	▲9 158			▲3 312
		生産量	4 678	1 160	▲7 162			▲4 322
		在庫量	15 97	11 104	12 109			▲43 109
	西部	出荷量	5 844	2 210	▲11 207			▲5 417
		生産量	8 848	3 215	▲10 204			▲4 419
		在庫量	14 129	23 142	31 143			▲40 143
	県計	出荷量	4 1,509	3 364	▲10 365			▲4 729
		生産量	6 1,526	2 375	▲9 366			▲4 741
		在庫量	15 129	14 142	16 143			▲42 143
石川県	加賀	出荷量	▲8 936	▲7 210	▲4 229			▲5 439
		生産量	▲11 921	▲4 219	2 234			▲1 453
		在庫量	▲10 142	▲4 151	5 156			▲49 156
	能登	出荷量	▲24 13	50 3	100 2			67 5
		生産量	17 14	100 4	0 2			50 6
		在庫量	20 6	40 7	17 7			▲36 7
	県計	出荷量	▲8 949	▲7 213	▲3 231			▲5 444
		生産量	▲11 935	▲3 223	2 236			0 459
		在庫量	▲9 148	▲3 158	5 163			▲49 163

(注)・上段は前年同期との比較

・集計は、新潟県

会員105社のうち105社

富山県

会員86社のうち86社

非会員 1社のうち 1社

石川県

会員21社のうち21社 (委託業者含む)

非会員16社のうち9社

(本データは、陸砂利・川砂利及び山砕石の数量である。)